

むらのだより

令和3年度
第1号

校長挨拶

本年四月に本校校長として着任いたしました森本 裕（もりもと ゆたか）です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。私は京都市在住で、京都のメーカーに約三十八年間勤務し、平成三十年四月から三年間、民間等出身校長として八尾支援学校の准校長を勤めました。学校での経験は短いですが、私にも支援学校に通っていた息子がいますので、これまでの経験を生かして、学校、生徒、保護者、そして地域や企業のそれぞれの思いをつなぐ接着剤の役割を果たしていきたいと思ひます。

また、「むらのSmile & Musicプロジェクト」についてお伝えします。大阪府では、学校経営において、PDCAサイクルによる高い効果が期待できる具体的な事業計画を提案する学校に対して、「学校経営推進費」で予算面のサポートをしています。本年は二十九校が応募し、審査の結果、八校の計画が採用され、本校も学校経営推進費を獲得しました。

「Smile & Music」プロジェクトの「Music」は、



【森本校長先生】

NPO法人ミュージック・シェアリングによる楽器指導支援プログラムを活用し、生徒たちの自己表現力の伸ばすプロジェクトです。そして成果発表の場として、校内での演奏会だけでなく、枚方市総合文化芸術センターでの演奏会にも毎年、参加する予定です。「Smile」は、校内外の演奏会に合わせて各専門学科で商品を開発し、販売をするプロジェクトです。すべての生徒が、それぞれの個性と強みを活かして活躍できる機会を作り、本校での三年間だけではなく、卒業後も笑顔で毎日を通して力を付けるよう、教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。

一年生近況

七期生たちがむらのに入学してからもうすぐ三カ月になりました。生徒たちはもうすっかり本校の雰囲気になじり込んで、毎日生き生きと学校生活を送る様子が窺えます。六月からはお待ちかねのクラブ活動も開始されました。仲間たちと楽しむ放課後のひとは、学校生活の醍醐味の一つでしょう。新型コロナウイルスの影響で延期されていた校外学習も、七月六日（火）に共生推進教室と合同で実施されました。もちろん学校生活は楽しみみだけではありません。後期には同じく延期となった職場体験実習が控えています。緊急事態宣言期間中に進路学習に取り組み、「実習の意義」や「働く意識」などについてじっくりと時間をかけて学びました。一年生たちももうすぐ社会へと巣立つための準備に取り掛かります。



【一年生の様子】

二年生近況

二年生では、六月から『むらのSmile & Music』プロジェクト（楽器支援プログラム）に取り組んでいます。来年六月、枚方市総合文化芸術センターで開催される五嶋みどりさん（バイオリニスト）との演奏会に向けて、生徒たちは興味津々にバイオリンやチェロ、そして打楽器などの練習に励んでいます。

音楽はユニバーサルであり、人と人を結びつける不思議な力を秘めています。地域の方々や心をひとつに奏でる美しいシンフォニーが、働くことを学び、就労実現をめざす生徒たちにとって、大人への大きなステップになることを期待しています。

六月下旬から七月初旬にかけては、初めて十日間の職場実習にチャレンジしました。個人目標もステップアップし、各職場で個々の課題と向き合いました。三年間の折り返し地点に立つ今、どのような進路をめざすのか、共に考えていきます。



【二年生の様子】

三年生近況

五月から現場実習が始まり、学年の生徒全員が顔をそろえる日はほとんどなくなりましたが、それぞれが進路実現に向けて頑張っています。学年フロアは独特な緊張感が漂っていますが、そのような中、三年では「動画発表会」を企画しました。動画制作に慣れている生徒も多く、進んで作業に取り組んでいる様子が見られます。友だちとの仲の良さを前面に出した作品、好きなものに対する熱い思いを紹介した作品などを、音楽や画像、文字をつまく使いながら編集し、新たな能力を見せてくれています。

卒業まであとという間に日々が過ぎていきます。学生でしかできないこともあります。悔いの残らないように一日一日を大切に過ごしてほしいと思ひます。



【三年生の様子】

オープンスクール

むらの高等支援学校の取り組みや充実した設備等を多くの皆様にご覧いただくことを目的としたオープンスクールを七月二十一日（水）二十六日（月）二十七日（火）の三日間開催します。本来なら地域の方々や幅広い年代の児童生徒や保護者・学校関係者の方々にもご参加いただきたいところでしたが、今年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として参加者を中学校等の三年生生徒とその関係者の方のみに限らせて開催させていただきました。楽しみにしていただいていた方々におかれましては、ご理解いただけますと幸いです。今年度のオープンスクール内容は在校生徒による授業紹介や本校の特色の一つでもある職業に関する学習の体験授業を実施します。すでにたくさんのご参加申し込みをいただいております。これから充実したオープンスクールになるよう準備を進めてまいります。ご参加いただける方々に当日お会いできることを楽しみにお待ちしております。



【むらのマスコットキャラクター】
「クルくん」

防災学習

五月七日（金）一、三限、全年で防災学習を行いました。まず、南海トラフ地震に関連した動画を視聴して危機意識を高めました。次に、学校に保管している個人の防災グッズの中身を確認しました。電池やカイロなど使用期限切れのものを交換しました。

また、被災時の避難生活を想定して、段ボールを用いて寝床を作ったり、暖がとれるように工夫をしたりしました。

本校では、登下校中に地震などがあつた場合は、電話回線が混み合うことを想定して、Google フォームを用いることとしています。問題なく練習ができ、有事の際は安全第一に行動できるように学習することができました。



【訓練の様子】

アビリンピック出場

六月十九日（土）、七月三日（土）に摂津市のポリテクセンター関西でアビリンピックがおさか2021が開催されました。本校からは、今年度より新設された販売・物流アシスト部門に八名、喫茶サービス部門に三名、オフィスアシスタント部門に四名の計十五名が出場しました。生徒たちは放課後何度も練習を重ね、販売・物流アシスト部門で一名が摂津市長賞（銀賞）に選ばれました。他の出場者も、優秀賞四名、努力賞三名の成績を収めました。喫茶サービス部門では、三名全員が優秀賞を獲得し、オフィスアシスタント部門では、優秀賞一名、努力賞三名の結果を出しました。また喫茶サービス部門では、本校のアビリンピックに向けての取り組みについてテレビ番組で紹介いただき、生徒たちの頑張る姿を多くの方々に知っていただくことができました。



【出場の様子】

卒業生進路状況

昨年度の卒業生の進路状況を報告します。卒業生三十七名（共生推進教室含む）のうち、企業就労三十一名、（本校二十五名、共生六名）障がい者福祉事業所二名（本校二名）、職業訓練校四名（本校四名）でした。就職率八十三%という進路状況になりました。就職がゴールではなく、新たなスタートとして、一日でも長く勤めてほしいと願っています。関係各機関と連携をしながら職場定着を進めていきたいと考えております。

種別	仕事内容	人数
就職	製造業	7名
	卸売業・小売業	8名
	宿泊業・飲食サービス業	3名
	医療・福祉	4名
	サービス業	7名
	大阪市教育委員会障がい者雇用	1名
	教育庁ハートフルオフィス	1名
障がい者福祉事業所	就労移行支援	1名
	就労継続支援A型	1名
職業訓練校	訓練	4名
4期生卒業生		計37名 [本校：31名] [共生推進：6名]